

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後にカルテ上に保存されているデータを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

双胎妊娠における染色体異常の発生頻度に関する調査研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院産科婦人科

【研究責任者】 松原 裕子（周産母子センター 講師）

【研究代表者】 小西 晶子（東京慈恵会医科大学産婦人科学講座 助教）

【研究の目的】

過去に当院を受診された双胎妊娠の妊婦さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、染色体検査の結果や周産期 outcome 等に関する情報を検討する研究を行うことといたしました。この研究は一絨毛膜二羊膜において染色体異常の発現頻度が低いのかどうかについて検討することを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる妊婦さん） 2016 年 1 月～2018 年 12 月の 3 年間に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち双胎妊娠と診断された妊婦さん

（利用するカルテ情報） 当院での総分娩数・双胎の分娩数（以降双胎の）母体年齢・妊娠方法・染色体異常の数・染色体異常症例の核型・合併症・転帰など

（利用する試料） なし

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイル

を郵送することによって東京慈恵会医科大学産婦人科に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 藪崎 恵子 東京慈恵会医科大学産婦人科学講座

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院周産母子センター 松原 裕子
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5572